



2020年8月14日

各 位

会 社 名 Chatwork 株式会社
代 表 者 名 代表取締役兼社長 山本 正喜
執行役員 CEO
(コード番号: 4448 東証マザーズ)
問い合わせ先 取締役兼執行役員 井上 直樹
CFO 兼コーポレート本部長
ir@chatwork.com

2020年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	2,450 ～2,541	231 ～359	233 ～363	272 ～421	7.44 ～11.52
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	1,815	77	62	61	1.70

2. 修正の理由

2020年12月期通期業績予想につきましては、全体売上高は前事業年度比30%以上、Chatwork 事業では同40%以上の成長とし、競合・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、営業利益以下の各段階利益については黒字を継続としつつ、具体的な金額予想は未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づいて2020年12月期通期業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

2020年12月期第2四半期累計期間においては、順調に成長を続けております。第3四半期以降に関しましても新型コロナウイルス感染症による影響は追い風ではあるものの、社会情勢が流動的であることや、引き続き競合・市場環境の変化に柔軟に対応するために機動的な投資を進める方針であるため蓋然性の高い情報の開示が難しい一方、投資家の皆様に対して有用かつ合理的な情報提供をおこないたいという観点から、通期業績予想の開示をレンジ方式による開示とすることにいたしました。

全体売上高につきましては前事業年度比+35%～+40%と期初の業績予想を上回る見通しでございます。

Chatwork 事業の売上高は同+35%~+40%となる見通しでございます。レンジ上限につきましては新型コロナウイルス感染症によるテレワーク需要が引き続き増加した場合を想定しております。

売上総利益以下の段階利益につきましてはシステム原価の資産計上、コスト効率の改善により前事業年度を大幅に上回る見通しとなっております。業績見通しの詳細は下記の通りでございます。

売上高	2,450 百万円	~	2,541 百万円	(前期比)	+35%~+40%
Chatwork 事業 売上高	2,159 百万円	~	2,239 百万円	(前期比)	+35%~+40%
売上総利益	1,786 百万円	~	1,870 百万円	(前期比)	+58%~+66%
営業利益	231 百万円	~	359 百万円	(前期比)	+197%~+363%
経常利益	233 百万円	~	363 百万円	(前期比)	+274%~+483%
当期純利益	272 百万円	~	421 百万円	(前期比)	+344%~+587%

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以上